

ベナン月報(2015年2月)

主な出来事

【内政】

- 25日、指導監督評議会(COS/LEPI)は、恒久電子化選挙人名簿(LEPI)の完成版を公開した。
- 25日、独立国家選挙管理委員会(CENA)は候補者リストの提出を行った19の政党の書類を精査し、16の政党の候補者登録を受け付けたと発表した。

【外政】

- (1月30-31日)、エチオピアのアディス・アベバで AU 総会が開催され、ヤイ大統領が出席した。今後50年のアフリカ大陸発展のためのアジェンダ2063が採択された。

【経済】

- タオ (M. Mingsheng DIAO) 駐ベナン中国大使とバコ (M. Nassirou BAKO-ARIFARI)外務大臣は、ベナンにおけるブロードバンド環境整備のため、中国政府からの400億 FCFA の借款協定に署名を行った。(24日, La Nation 紙)
- 24日、客年9月に行われた UEMOA 投資会議を受け、クチェ(M. Komi KOUTCHE)経済・財務・民営化大臣、スマレ(M. Cheikh Hadjibou SOUMARE)UEMOA 委員長、アドベランデ(M. Christian ADOVELANDE)西アフリカ開発銀行総裁は、ベナンにおけるインフラ開発プロジェクトの実現に向けて、投資家との協議を行った。

※下記内容は、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L' Evénement Précis 紙、La Nouvelle Tribune 紙および L' Autre Quotidien 紙の記事を元に記載したものです。

【内政】

- ・ (1月31日)、デグラ(M. Benoit DEGLA)大統領警備特別顧問の乗った車がコリーヌ県ダッサ・ズメ市の ジジャ地区でトラックと正面衝突し、デグラ氏と運転手が重傷を負い、ボディガードが死亡した。(2日, Le Matinal 紙、L' Autre Quotidien 紙、La Nouvelle Tribune 紙、L' Autre Quotidien 紙)
- ・ 2日、アジョウン市のガンバン地区でプル族の遊牧民と地域住民の闘争が発生、1名が銃撃により死亡、数人が重傷を負った。(3日, La Nation 紙)
- ・ 3日、法曹労働組合(SYNTRA-Justice)が72時間のストライキを開始。ポルト・ノヴォの裁判所などが業務を停止した。(4日, La Nation 紙)
- ・ 3日、アタコラ・ドンガ県の医療従事者組合員が、待遇改善を求めるデモを行った。(4日, La Nation 紙)
- ・ 4日、アプロ・ミセレテ市の刑務所から殺人事件の被疑者が脱走した。(6日, Le Matinal 紙)
- ・ 4日、コトヌ市でメディアの自由化を求めるデモが行われた。(5日, La Nation 紙)
- ・ 7日、ヤイ大統領はコトヌ市イエミコジ地区及びアコバト地区の上水道の開通式に出席した。(9日, La Nation 紙、Le Matinal 紙)

- ・ 12日、国境なき記者団が発表する「報道の自由度ランキング」において、ベナンは昨年からの6順位を落とし、180カ国中84位となった。(13日、L'Événement Précis 紙)
- ・ 17日、ヤイ大統領は、アラダ市アユ地区において、EUの支援によって整備された新たな電力網の開通式に参加した。(18日、La Nation 紙)
- ・ 17日、政府調達管理局(Direction Nationale de Contrôle des Marchés Publics)は、政府調達統合管理システム(Système intégré de gestion des marchés publics / SIGMAG)の導入を発表した。(18日、La Nation 紙)
- ・ 18日、アタコラ県およびドンガ県は、ベナン政府がボコ・ハラム対策において周辺国との協調を行う決定を下したことを受けて、ベナンにおけるテロ発生の可能性について国民に注意喚起を行った。(19日、La Nation 紙)
- ・ 20日、ヤイ大統領はコヌ市セメ・ポジ地区において、新たに設置された水道網の開通式に出席した。(23日、La Nation 紙)
- ・ 21日、ポベ市で34.8キロのインド大麻をバイクで運んでいた男性が逮捕された。(25日、L'Événement Précis 紙)
- ・ 21日、野党PRDのフンベジ総裁(M. Adrien HOUNGBEDJI)は、次回の国民議会選挙において、首都ポルト・ノヴォを含む第19選挙区で立候補することを表明した。同氏の政界への復帰は4年ぶりとなる。(23日、La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 24日、次の選挙に向けて、19の政党が独立国家選挙管理委員会(CENA)に候補者登録のための書類を提出した。(25日、La Nation 紙、L'Événement Précis 紙)
- ・ 24日、ヤイ大統領はアボメイ・カラビ市ウォメ地区の道路舗装工事の起工式に出席した。(25日、La Nation 紙)
- ・ 25日、指導監督評議会(COS/LEPI)は、恒久電子化選挙人名簿(LEPI)の完成版を公開した。(26日、La Nation 紙、Le Matinal 紙、L'Autre Quotidien 紙)
- ・ 25日、CENAは候補者リストの提出を行った19の政党の書類を精査し、16の政党の候補者登録を受け付けたと発表した。(26日、La Nation 紙、L'Autre Quotidien 紙)
- ・ 25日、ンダリ市でベナン人1名とブルキナファソ人1名がインド大麻55キロを含む麻薬の所持で逮捕された。(27日、Le Matinal 紙)

【外政】

- ・ (1月30-31日)、エチオピアのアディス・アベバでAU総会が開催され、ヤイ大統領が出席した。今後50年のアフリカ大陸発展のためのアジェンダ2063が採択された。(2日、La Nation 紙、L'Autre Quotidien 紙)
- ・ 10日、トーゴのダミピ・ヌポク(M. Dammipi NOUPOKOU) エネルギー大臣がヤイ大統領の元を訪れ、両国のエネルギー政策について意見交換を行った。(11日、La Nation 紙)
- ・ 11日、JICA ベナン支所が保健省と共同で保健分野の活動報告会を開催した。(12日、La

Nation 紙、Le Matinal 紙)

【経済】

- ・ 16日、クステル・メナジェ(Mme. Aline KUSTER-MENAGER)駐ベナン・フランス大使と、クチェ(M. Komi KOUTCHE) 経済・財務・民営化大臣は、80億 FCFA に上るコリーヌ県の農業開発案件の協定に署名を行った。(17日, La Nation 紙、Le Matinal 紙、L' Evénement Précis 紙、L' Autre Quotidien 紙)
- ・ 19日、ヤイ大統領はパートナー企業エファージュ・セネガル(Eiffage Sénégal / 仏系企業)とともに、ベドコ地区アカソンボ交差点(通称カルフル・トヨタ)及びコヌ・ポルト・ノヴォ間の幹線道路入り口にあるソベブラ交差点の立体交差化について、調査を行った。
- ・ タオ (M. Mingsheng DIAO) 駐ベナン中国大使とバコ (M. Nassirou BAKO-ARIFARI)外務大臣は、ベナンにおけるブロードバンド環境整備のため、中国政府からの400億 FCFA の借款協定に署名を行った。(24日, La Nation 紙)
- ・ 24日、客年9月にドバイで行われた UEMOA 投資会議を受け、クチェ(M. Komi KOUTCHE)経済・財務・民営化大臣、スマレ(M. Cheikh Hadjibou SOUMARE)UEMOA 委員長、アドベランデ(M. Christian ADOVELANDE)西アフリカ開発銀行総裁は、ベナンにおけるインフラ開発プロジェクトの実現に向けて、投資家との協議を行った。(25日, La Nation 紙)
- ・ 24日、アズイズ(M. El Haj Issa AZIZOU)農業・畜産・漁業大臣は、FAO と3つのプロジェクト(総額17億 FCFA)の実施に合意し、署名を行った。(25日, La Nation 紙)
- ・ 24日、バニコアラ市の綿花倉庫で火災が発生、およそ3トンが焼失した。(25日、Le Matinal 紙)
- ・ 24日、総額1200億 FCFA に上るコヌ市の漁業通り(La Route des Pêches)舗装計画が正式に開始された。(25日、Le Matinal 紙)
- ・ 26日、塚原駐ベナン日本国大使は、「アトゴン中学校建設計画」の署名式に参加した。(27日、L' Evénement Précis 紙)